



JICA2024年度課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」（10月21日～11月29日）

本協会が独立行政法人国際協力機構（JICA）から受託している課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」は10月21日から11月29日までの6週間で行われた。

今年度で57回目を迎える本研修には、ラオス、カンボジア、東ティモール、南スーダン、ルワンダ、フィリピン、マダガスカルの7カ国7名の研修員が参加した。



当該国における水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的に、国土交通省・水道事業者・研究機関・民間企業の協力を得て、講義・視察・演習を実施した。

水道技術管理者資格取得講習会（大阪会館：10月22日～11月12日、

オンライン第2回：11月5日～11月26日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、159名（大阪会館：81名、オンライン第2回：78名）の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汜過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

水道技術者研修会（Aコース：11月12日～15日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々87名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「導・送・配水施設」、「水源・取水・貯水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」について研修を実施した。

地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第1回応急給水・応急復旧等に関する小委員会（11月18日）

冒頭、本荘谷工務部長より挨拶を行った。

はじめに、委員長の互選を行い、委員長には横浜市水道局の浅岡給水維持課長が選任された。また、委員会規程により、浅岡委員長の指名で、大阪市水道局工務部の中村品質管理担当課長が副委員長に就任された。

その後、浅岡委員長の進行の下、「地震等緊急時対応の手引き改訂に係る主な論点と対応方針案」について事務局から説明があり、参加委員への意見聴取が行われた。



第200回水道 GLP 認定委員会（11月19日）

水道 GLP 認定について審議した結果、高知市上下水道局（JWWA-GLP085）、大津市企業局（JWWA-GLP125）の認定更新を決定した。

また、一般財団法人青森県薬剤師会食と水の検査センター（JWWA-GLP008）、株式会社東海分析化学研究所（JWWA-GLP010）、京都市上下水道局（JWWA-GLP019）及び一般財団法人宮崎県公衆衛生センター（JWWA-GLP138）の認定維持を決定した。

地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第1回応援体制・情報連絡等に関する小委員会（11月20日）

冒頭、千秋総務部長より挨拶を行った。

はじめに、委員長の互選を行い、委員長には名古屋市上下水道局の藤岡総務部担当課長が選任された。また、委員会規程により、藤岡委員長の指名で、東京都水道局総務部の吉富危機管理専門課長が副委員長に就任された。

この後、藤岡委員長の進行の下、「地震等緊急時対応の手引き改訂に係る主な論点と対応方針について」事務局から説明を行った。

最後に、「今後のスケジュールについて」事務局より説明があり、了承された。



配管設計講習会（関西会場：11月20日～22日）

水道事業者及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々50名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第1030回会誌編集委員会（11月21日）

横浜市水道局川井浄水場で開催し、施設見学を行った。その後、会議では本誌12月号の編集方針、投稿原稿の査読状況等について審議を行った。



配水管工技能講習会の新設会場における講習会開催準備に関する覚書の調印式（11月26日）

本協会で実施する配水管工技能講習会について、受講生の利便性の向上及び十分な開催回数の確保を目的として、令和8年度から新たに札幌市と高松市で大口径管に関する講習会を開催する。

これに伴い、講習会の会場として施設をお借りする株式会社フソウ及びアクアパイプテック株式会社と、開催に係わる準備業務を円滑に進めるため、「配水管工技能講習会の新設会場における講習会開催準備に関する覚書」を令和6年11月26日に締結した。

今後は両者と連携しながら本覚書に基づき、令和8年度の開催に向け、準備を進めていく所存である。



漏水防止講座（大阪会場：11月26日～28日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々52名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事事故例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

令和6年度第3回運営会議（11月27日）

本協会の青木理事長が議長となり、報告事項1「令和6年度水道関係補正予算に関する要望活動（緊急要望）」、報告事項2「地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会の設置」、報告事項3「令和6年度日本水道協会全国会議の実施状況」、報告事項4「令和6年度全国会議・2024神戸水道展「水道PRブース」の実施報告」、報告事項5「日本水道協会検査事業の認知度向上を目指して～



PR 動画制作～」、報告事項6「令和6年度情報発信スキルアップセミナー」報告事項7「令和7年度日本水道協会研修会開催予定」報告事項8「IWA-ASPIRE 会議2025（ニュージーランド・オークランド）」報告事項9「第13回日米台水道地震対策ワークショップ（台湾・台北市）」について事務局から報告があった。

続いて、第1号議案「日本水道協会第105回総会会員提出問題の処理等」、第2号議案「令和7年度日本水道協会全国会議の開催期日及び会場」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

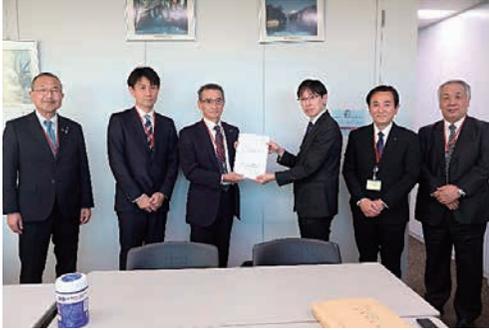
会議終了後、第1号議案の議決に基づき、地元選出国會議員、関係省庁等に対し陳情を行った。



横山財務副大臣への陳情



松原国土交通省上下水道審議官への陳情



柳田環境省水・大気環境局水道水質・衛生管理室長への陳情



清田総務省自治財政局官房審議官（公営企業担当）への陳情



河野復興庁環境班参事官への陳情



水野内閣府参事官（避難生活担当）への陳情

水道技術者研修会（Bコース：11月27日～12月6日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々68名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「導・送・配水施設」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水源・取水・貯水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「漏水防止実習」、「水質管理（概論）」、「水質管理（浄水処理・送配水）」、「水道の危機管理」、「給水装置」について研修を実施した。

また、研修会初日に行われたグループ別ディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

令和7年度水道関係政府予算対策室（11月28日）

水道事業の基盤強化及び水道施設の耐震化促進・強靱化のため、令和7年度水道関係予算の確保に向け、「令和7年度水道関係政府予算対策室」を設置した。



第167回水道事業管理者協議会（11月28日）

はじめに、審議事項「簡易水道事業統合に関するアンケートについて」が上程され、提案都市の松江市より説明があり、簡易水道統合後の経営状況や旧簡易水道事業に係る国の財政支援の活用状況等を把握し、経営改善につなげるため全正会員を対象にアンケート調査を実施することが了承された。



次に、メンバー都市等から提案された情報交換事項「①各戸検針のあり方とスマート

メーターの導入について」、「②前住所地における水道料金未納を理由とした給水停止の可否について」、「③水道事業における経費削減策について」、「④浄水過程において発生した汚泥排水にかかる下水道使用料について」、「⑤水道事業広報戦略の策定について」、「⑥地下水保全条例における採取行為の規制について」の6題について、それぞれ情報交換を行った。

最後に、①水道賠償責任保険のサービス拡充について、②水道PRブース実施報告について、③情報発信スキルアップセミナーの実施について事務局から報告があった。

第48回水道施設に関する規格専門委員会（12月5日）

JWWA B 120（水道用ソフトシール仕切弁）について、GX形呼び径350の追加及びJIS G 5502（球状黒鉛鋳鉄品）改正への対応等のため、第2回目の委員会を開催し、規格改正についての審議を行った。

第268回衛生常設調査委員会（12月10日）

はじめに、本荘谷工務部長より開会の挨拶を行った。

続いて、環境省水・大気環境局環境管理課水道水質・衛生管理室の柳田室長から、最近の水道水質行政について情報提供があった。

議事に入り、木村委員長（東京都水道局）進行の下、「震災等の非常時における水質試験方法の改訂」、「JWWA K135（水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法）及びK157（水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法）の改正」、「JWWA G112規格（水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装）の改正」、「JWWA K149（水道用コンクリート水槽内面FRPライニング材料）の改正」及び「JWWA K113（水道用粉末活性炭）の2-MIB 価測定法検討」に関連する審議を行った。

また、「水質試験方法等調査専門委員会（全体会、各部会）」及び「水道GLPの状況」について事務局より報告を行った。



第787回抄録委員会（12月12日）

本誌3月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

